

公益社団法人日本リハビリテーション医学会

平成27年度 事業計画

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

<事業方針>

1. 学術活動の推進

- ① 第52回学術集会を開催する。
- ② 第10回専門医会学術集会を開催する。
- ③ 地方会学術集会の開催を支援する。
- ④ 学会誌を刊行する。

2. 新専門医制度改革への対応

- ① 新専門医制度に対応するための具体的な体制整備を行う。
- ② 専門医・認定臨床医育成のための教育を継続的に検討する。

3. リハビリテーション医学教育の充実

- ① 卒前教育の最新状況を把握し、専門医制度基本領域にふさわしい卒前教育内容を検討する。
- ② 全国大学医学部・医科大学におけるリハビリテーション医学教育の実態調査を基に、リハビリテーション医学教育の責任者連絡会（仮称）を設置し、卒前教育に必要な講座設置のあり方の提言や関係機関への働きかけを行う。
- ③ 専門医制度基本領域にふさわしい研修医の研修内容を吟味し、関係機関に提案する。
- ④ 医学生、研修医へのセミナー実施と広報の充実を図る。
- ⑤ 卒後教育、生涯教育（認定臨床医、専門医、指導医）のための研修を充実する。
- ⑥ 一般医家に対するリハビリテーション医学啓発を推進する。
- ⑦ 関連専門職教育推進を支援する。

4. 調査研究・学術事業の推進

- ① 診療ガイドラインを計画的・系統的・持続的に策定、改訂する。
- ② データマネジメントシステムを合理的に整備する。
- ③ 競争的資金を導入し、多施設共同研究を推進する。
- ④ 出版物発行のあり方を総合的に見直し、新たな事業を開始する。

5. 社会保障制度改革への対応と提言

- ① 関連団体との連携体制を再構築して情報交換を強化する。
- ② 制度体系について中期的展望に立った提言を行う。
- ③ 診療報酬改定に向けた対応について検討・実施する。
- ④ 時代に即応した医療福祉システムを展望し充実案を提案する。

6. 社会への貢献

- ① リハビリテーション医療の充実・普及を図る。
- ② 障害者の社会参加を促進する。
- ③ 市民啓発事業を実施する。
- ④ 脳卒中对策基本法の成立に向けた活動を継続する。
- ⑤ 他学協会と協力して大災害への支援体制作りを行う。

7. 国際化の推進

- ① 各国研究者間の交流を促進する。
- ② アジア地域との連携と交流を促進する。
- ③ 国際学会への対応を強化する。
- ④ 2019年の国際リハビリテーション医学会招致の準備を行う。

8. 学会財政基盤の見直し強化

- ① 引き続き学会財政の立て直し強化に向けた取り組みを行う

9. 学会組織の見直しと充実

- ① 理事長直轄委員会を活用し、機動的に事業を行う。
- ② 専門医会及び専門医会学術集会の在り方を見直す。
- ③ 委員会機能を整備・強化する。
- ④ 危機管理体制を整備する。
- ⑤ 事務局機能を見直す。
- ⑥ 出版物発行の在り方について総合的に見直す。
- ⑦ 地方会活動を支援する。

10. 50周年記念事業の実行

- ① 50周年記念事業の最終年度に相応しい記念事業を実施する。

11. その他

- ① 本医学会の目的に沿った事業を行う。

<事業計画>

1. 学術集会の開催

- 1) 第52回日本リハビリテーション医学会学術集会を、平成27年5月28日(木)、29日(金)、30日(土)の3日間、新潟県朱鷺メッセに於いて開催する。
- 2) 第10回専門医会学術集会を、平成27年11月28日(土)、29日(日)の2日間、ソラシティカンファレンスセンター(御茶ノ水)に於いて開催する。

2. 諸会議

1) 代議員総会 1回

2) 理事会

定例理事会 3回、臨時理事会 4回を開催する。

3) 理事長直轄委員会

①倫理委員会（常設）

必要に応じ、リハ医学会の倫理に関する問題の審議を行う。

②研究倫理審査会（常設）

必要に応じ、リハ医学会における研究倫理の審査を行う。

③利益相反委員会（常設）

必要に応じ、学術集会をはじめとする利益相反に関する審査等を行う。

④危機管理委員会（常設）

災害時等におけるリハ医学会の危機管理に関する検討を行う。

⑤財務委員会（常設）

リハ医学会の財務体制について検討するとともに、リハ医学会事業計画及び収支予算案並びに収支決算の検討を行う。

⑥設立50周年実行委員会（臨時）

設立50周年記念事業について検討し理事長に答申する。

⑦選挙制度検討委員会（臨時）

リハ医学会における代議員選挙、役員選挙並びに専門医会幹事選挙の在り方について検討し、理事長に答申する。

⑧ISPRM 招致委員会（臨時）

2019年にISPRM国際学会を日本に招致するための準備を行う。

⑨専門医制度委員会（臨時）

新専門医制度に向けた検討を行う。

⑩新リハ機器あり方委員会（臨時）

新リハ機器の健全かつ速やかな発展を誘導するための基盤づくりを行う。

⑪刊行物の在り方検討委員会（臨時）

学会刊行物の在り方を検討し、和文誌のオンライン化、英文ジャーナルの刊行などより質の高い学会誌の発行を目指す。

4) 各種委員会（15 常置委員会）

(1) 編集委員会

- ① リハ医学の学術的発展に寄与すべく、質の高い会誌を発行する。平成28年1月からの全面リニューアルに向けて学会内外への周知と円滑な移行を行う。
- ② 本学会のみならずリハ医学関連分野全体を学術的にリードする会誌を目指して、内容や編成の改革を行うと同時に、オンライン化を含めてあらゆるコスト減を検討する。また、日本のリハ医学の世界への発信を容易にする環境を提供すべく、オー

プリアクセスによるオンライン英文誌を創刊する。

(2) 評価・用語委員会

① Web 版リハビリテーション医学用語辞典

- ・用語の修正・追加、システムの対応、用語解説の充実など運用と内容の充実を図る。
- ・50周年記念事業としての一般向け解説の公開作業を継続し、アクセス内容の解析を行う。
- ・日本医学会用語委員会参加し Web 版リハ医学用語とのすり合わせ及び、他学会、団体との連携を行う。

② 評価法データベース事業

- ・評価法データベースへのアクセス数確認を行い、まとめをリハビリテーション医学に掲載する。

③ 広報活動

- ・リハニュース、学会ホームページなどを通じた広報活動を継続する。

④ その他

- ・ICD-11、ICFに関する事業
- ・他委員会との連携強化

(3) 教育委員会

<育成>

- ① 卒前教育カリキュラムの検討と初期臨床研修を実施する。
- ② 専攻医研修カリキュラム整備と研修プログラムの検討を行う。
- ③ カリキュラム変更に伴う研修手帳の作成を行う。
- ④ 医学生セミナーの広報と統括を行う。
- ⑤ 臨床研修医等医師向けリハビリテーション研修会を開催する。

<生涯教育>

- ① 生涯教育研修会の認定審査及び生涯教育単位の見直しを行う。
- ② 実習研修会を開催の支援を行う。
- ③ 病態別実践リハビリテーション研修会を開催する。
- ④ 一般医家に役立つリハビリテーション研修会（非会員医師対象の基礎講座）を開催する。
- ⑤ 専門医受験支援講習会を開催する。
- ⑥ 指導医研修会を開催の支援を行う。
- ⑦ 専門医更新のための講習会（医療倫理、医療安全、感染対策に関する講習会）を開催の支援を行う。

(4) 資格認定委員会

- ① 専門医の認定及び更新に関する事務を行う。
- ② 認定臨床医の認定及び更新に関する事務を行う。
- ③ 指導医の認定及び更新に関する事務を行う。
- ④ 新専門医制度に向けた資格要件や規則改正などを行う。

(5) 施設認定委員会

- ① 研修施設の認定及び更新に関すること
 - ・研修施設の新規認定、既得研修施設の定期審査、Web システム機能の整備等を行う。
- ② 新しい専門医制度に関すること
 - ・研修施設の認定・更新制度に関する検討、規則改正等の検討を行う。

(6) 試験委員会

- ① 専門医試験・認定臨床医試験を実施する。
- ② 専門医試験、臨床認定医試験の筆記試験問題を作成する。
- ③ 専門医試験の口頭試験における標準問題を作成する。
- ④ 実施した筆記試験問題の適切・不適切に関する検討を行う。
- ⑤ 実施した試験問題および予備問題を保存・管理する。
- ⑥ 新専門医制度に向けた試験方法・試験内容の検討・整備を行う。
- ⑦ 新作問題作成および会員への作成を依頼する。
- ⑧ 試験問題作成ワークショップを開催する。

(7) 診療ガイドライン委員会

- ① 「リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン」改定作業の支援を行う。
- ② 新規ガイドライン作成の検討を行う。
- ③ 他学会、他職種ガイドラインに関する情報収集
- ④ 日本医療機能評価機構医療情報サービス Minds との連携を継続し、ガイドラインの公開・宣伝を行う。

(8) 社会保険等委員会

- ① 医療保険に関する業務
 - ・平成 26 年度診療報酬改定におけるリハ関連新規事業（急性期 ADL 維持・向上加算、回復期リハ入院料 I）に関する調査及び検証を行う。
 - ・平成 28 年度診療報酬改定に向けたリハ関連項目の見直し、提案項目の検討及び提案書の作成を行う。
 - ・外来リハビリテーションの実態調査を行う。
- ② 介護保険に関する業務
 - ・平成 27 年度介護報酬改定の影響について会員向けの実態調査・分析を行い学会誌に報告するとともに、平成 30 年度介護報酬改定に向けた提案項目のエビデンスデータの蓄積を行う。
 - ・訪問リハ・通所リハに対する医師の関与に関する実態調査を行う。
- ③ リハビリテーション診療報酬体系及び介護報酬体系の検証に関する業務
 - ・急性期リハにおける実態調査を継続的に行い、平成 28 年度診療報酬改定に向けたエビデンスの作成を行う。
- ④ 診療報酬等の医師要件・施設要件に必要な資格認定に関する業務
 - ・急性期病棟におけるリハ医師講習会及び回復期リハ強化加算に対する資格講習会

を開催する。

・がんのリハ研修会の運営に携わり、研修会開催を支援する。

- ⑤ 在宅リハビリテーションを推進する講習会のための準備・開催作業に関する業務
- ・本委員会、障害保健福祉委員会、関連専門職委員会との合同で、在宅リハビリテーションに関する講習会を準備開催する。

(9) 障害保健福祉委員会

① ICF 利用方法の研究・調査

・ICF 利用モデルを作成し、会員に提供する。

② 地域リハビリテーションのあり方とリハビリテーション科医の役割についての検討

・介護専門職員協会と連携し Web アンケートを実施、集計・分析を行い、地域包括ケアシステム構築に向けた協力体制を検討する。

・地域包括ケア成功事例の集約、内外向けのキャンペーンを行い、リハ機能を強化した地域包括ケアシステム構築について、関連団体と共有・検討を行う。

③ 障害者スポーツに関する取組み

・東京オリンピック・パラリンピック（2020 年）大会の支援準備を行う。

・東京パラリンピックを見据えて、障害者スポーツ種目についてリハニュースなどで会員への情報提供・啓発を行う。

④ 障害者施策の動向と障がい児／者を取りまく関連制度等の検討

・リハ実施施設での障害児への支援状況調査等を行い、小児リハの現場における現状の課題抽出を行う。

・補装具意見書作成上の留意点について情報集約を行う。

・難病性疾患についてリハ医学会会員の現状意識調査を実施する。

(10) 関連機器委員会

① 医療ニーズの高い未承認医療機器などの早期導入に関する要望について、会員の要望を集約・検討し厚労省に提案する。

② 適宜 JIS の見直し調査に対する検討及びフォローアップを行う。

③ 企業シーズの情報提示の可能性について検討する。

(11) 関連専門職委員会

① リハ科専門医と関連専門職種養成学校とのマッチングシステムの構築を行い、実施する。

② 関連専門職種へのアンケートに基づくリハ科専門医の在り方の検討及び地域包括ケアシステム構築に向けてのリハ科専門医の在り方等の検討を行う。

③ 関連専門職種の情報収集を行う。

④ 心理士職国家資格化へ向けた情報収集と支援を行う。

⑤ 人材育成（各職種卒後教育問題）に向けて、リハ関連 10 団体人材育成部会に参画し、情報収集および提言を行う。

(12) 会則検討委員会

① 規則、内規、申し合わせ等の諸会則の整理と会則間の整合性を図る。

- ② 医師以外の正会員候補者の入会審査を適正に行う。
- ③ その他諸会則に関わる必要事項の検討を行う。

(13) 広報委員会

- ① 広報誌（リハニュース）を引き続き PDF で発刊する。
- ② ホームページの管理改編
- ③ 会員用 Web システムの有効活用、IT 化に向けた協議
 - ・現状に則したスマートフォンやタブレットの UI に適したデザイン、若しくは専用ミラーサイトの検討を行う。
 - ・各地方会のサイトにおける連携方法の検討を行う。
- ④ リクルート用のリハビリテーション医学ガイドの改訂を行う。
- ⑤ リハ医学の普及・発展へ向けた啓発
 - ・ホームページコンテンツやリハニュースの内容の見直しを行う。

(14) 国際委員会

- ① 日本リハ医学会員海外研修助成プログラムに基づき、4名の助成を行い、平成28年度募集に向けた準備を行う。
- ② 外国人リハ医師対象の短期交流助成プログラムに基づき、助成者と受入施設とのマッチング、認定証作成・送付、報告書のとりまとめを行い、平成28年度募集に向けた準備を行う。
- ③ Honorary/Corresponding Member の拡充、活動内容見直しを継続する。
- ④ 英文ホームページの充実など日本リハ医学会の国際化への対応を推進する。
- ⑤ 英文 annual report の作成と H/C Member への送付を行う。
- ⑥ ISPRM (2019) 招致を推進するための支援活動を行う。

(15) データマネジメント委員会

- ① 書籍「リハビリテーション医療データバンク 2016（仮題）」の企画編集を行う。
- ② 日本リハビリテーション・データベース協議会（JARD）と連携し、統計学講座を開催する。
- ③ 日本リハビリテーション・データベース協議会（JARD）と連携し、データ登録病院の拡大、データベースを使った研究、分析結果の査読などの活動を行う。
- ④ 外部資金の獲得とそれを活用した共同研究の検討を行う。
- ⑤ 診療報酬改定に対応できる即応性のあるデータベース作成の準備を行う。

5) 特別委員会

(1) システム委員会

- ① 現行のリハビリテーション医学会システムの保守、改良
 - ・会員管理・掲示板・メールマガジン・アンケート等に生じた不具合対応
 - ・ログイン者数増加への啓発活動を行う。
- ② 新たなシステムの立つインフラの検討
 - ・IC カード導入による学会参加、研修ポイント、会費等の電子決済などの検討を行う。

- ・ e-learning などの導入を検討する。
- ③ 新専門医制度導入後の専門医取得、更新システム構築
 - ・ 新専門医資格更新制度の改訂に向けてシステムの構築を行う。

6) 専門医会

- ① 専門医会総会を開催する（平成 27 年 11 月 28 日）。
- ② 専門医会学術集会を開催する（平成 27 年 11 月 28 日～29 日、東京）。
- ③ 年次学術集会における専門医企画を実施する。
- ④ SIG 活動を充実し、外部研究資金の導入を推進する。
- ⑤ WG 活動を推進する。
- ⑥ 専門医間の交流促進を図る。
- ⑦ 専門医会実技研修支援（リハ科専門医スキルアップ）を行う。
- ⑧ 学会データベースを利用した研究（専門医アウトカム分析）を推進する。
- ⑨ 専門医会研究補助金の交付事務を行う。
- ⑩ リハビリテーション医学講座のない大学の医学生に対するリハ講義（仮称）
 - ・すべての医学生にリハ医学講義を受講する機会を提供するために、専門医学術集会や全国各地での講座開催を検討する。
- ⑪ リハビリテーション関連職種との連携強化
 - ・ PT, OT, ST, PO 等の関連職種をはじめとし、脳卒中リハ認定看護師や呼吸療法認定士、心臓リハ指導士などの団体の活動と連携する。当面、脳卒中リハ認定看護師との連携を進める。

7) R J N世話人会

- ① リハビリテーション科広報・会員・専門医数増加への支援を行う。
- ② 女性リハビリテーション科医を中心とした会員の交流・親睦促進を図る。
- ③ 他学会女性医師との連携を行う。

3. 新専門医制度に向けた取り組み

専門医制度委員会を中心に、新専門医制度に対応する「専門研修プログラム」、「専門医・指導医の資格認定と更新」についての整備及び会員への情報提供、並びにシステム構築の検討を進める。

4. 財政基盤の立て直し

安定した財政基盤の確立のため、引き続き財務委員会に於いて財政状況の分析及び検討を行う。

5. 会誌の発行

会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」を年 11 号（第 52 巻第 4 号/5 号（合併号）、第 6 号～第 7 号、第 8 号/9 号（合併号）、第 10 号～第 12

号、特別号、第53巻第1号～第3号)、1号あたり約10,000部発行する。また、学会誌リニューアルを推進し、平成28年1月にリニューアル号を発行する。

さらに、英文 journal の在り方について検討し、創刊に向けた取り組みを行う。

6. 広報誌の発行

広報誌「日本リハビリテーション医学会ニュース」(リハニュース)をPDF形式での発行を今後も継続する。また、リクルート用のリハビリテーション医学ガイドを改定・発行する。

7. ホームページの管理運営

- 1) 掲載内容の更新、追加などを実施する。(適宜内容の見直しやトップページを含めた内容の整理を行う。)
- 2) 会員用 Web システムの有効活用及び IT 化を推進する。
- 3) 会員により実用的な情報管理、提供の場となるHPを検討する。

8. 教育及び研修

1) 実習研修会

筋電図、脊損尿路、小児、福祉/地域、動作解析、義手義足、嚥下、職業、医療コミュニケーションの9種10研修会を開催する。

2) 学術集会研修会

第52回日本リハビリテーション医学会学術集会を、平成27年5月28日、29日、30日の3日間、新潟県朱鷺メッセに於いて開催する。

3) 専門医会学術集会研修会

平成27年11月28日、29日の2日間、ソラシティカンファレンスセンター(御茶ノ水)に於いて開催する。

4) 病態別実践リハビリテーション医学研修会

「骨関節障害」「神経系障害」「内部障害」の3研修会を開催する。

5) 臨床研修医等医師向けリハビリテーション研修会、一般医家に役立つリハビリテーション医療研修会を開催する。

6) 医学生リハビリテーションセミナー

医学生のためのリハビリテーションセミナーを有機的に展開する。

7) リハビリテーション処方に必要な研修会

診療報酬の改定に合わせ、リハビリテーション処方に必要な研修会を開催する。

9. 専門医の認定及び資格更新

- 1) 専門医(リハビリテーション科専門医)の認定審査を行う。
- 2) 専門医の資格更新審査を行う。

10. 認定臨床医の認定及び資格更新

- 1) 認定臨床医の審査認定を行う。
- 2) 認定臨床医の資格更新審査を行う。

11. 指導医の認定及び資格更新

- 1) 申請に基づき指導医の認定審査を行う。
- 2) 指導医の資格更新審査を行う。

12. 研修施設の認定及び資格更新

- 1) 申請に基づき研修施設の認定審査を行う。
- 2) 研修施設の資格更新を行う。

13. リハ医学啓発活動事業

各地方会で市民公開講座等を開催し、広くリハビリテーション医学の啓発活動を行う。

14. 学術研究助成

- 1) 優秀論文への助成
- 2) 若手研究者への海外研修助成
- 3) 外国人リハビリテーション医への交流研修助成
- 4) 専門医会研究補助金

15. 国際リハビリテーション関連

- 1) ISPRM、AOSPRM 等の活動に参加する。
- 2) アジア地域での交流活動を行う。
- 3) ISPRM 招致活動を進める。

16. 利益相反マネジメントの推進

利益相反マネジメントの啓蒙促進を図る。

17. その他

リハビリテーション関連団体の主催する各種事業の後援、協賛等を行う。

収支予算書(事業別区分経理の内訳表)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	76,050,000	76,050,000	0	152,100,000
正会員受取会費	75,000,000	75,000,000		150,000,000
賛助会員受取会費	1,050,000	1,050,000		2,100,000
事業収益	170,183,000	0	0	170,183,000
学術集会事業収益	102,012,000			102,012,000
学術集会収益	102,012,000			
抄録号広告収益	0			
会誌等発行事業収益	9,000,000			9,000,000
専門医等認定事業収益	26,100,000			26,100,000
審査料	8,300,000			
登録料	3,800,000			
更新料	8,000,000			
講習会参加費	6,000,000			
研修会事業収益	15,900,000			15,900,000
生涯教育研修会認定料	900,000			
病態別実践リハ研修会	4,500,000			
一般医家リハ研修会	660,000			
臨床研修医医師向けリハ研修会	840,000			
急性期リハ医師研修会	9,000,000			
専門医会収益	17,171,000			17,171,000
基本財産等運用収益	10,000	50,000	0	60,000
基本財産受取利息		50,000		50,000
学術研究助成基金受取利息	10,000			10,000
受取助成金等	300,000	0	0	300,000
受取民間助成金	300,000			300,000
受取寄附金	3,000,000	0	0	3,000,000
受取寄附金	3,000,000	0		3,000,000
雑収益	400,000	10,000	0	410,000
受取利息		10,000		10,000
雑収益	400,000			400,000
経常収益計	249,943,000	76,110,000	0	326,053,000
(2) 経常費用				
事業費	273,889,000		0	273,889,000
学術集会事業費	102,012,000			102,012,000
抄録集作成費	0			0
会誌発行費	28,890,000			28,890,000
リハニュース発行費	1,344,000			1,344,000
各種委員会旅費・会場費	8,638,000			8,638,000
各種委員会経費	4,849,000			4,849,000
専門医等認定事業	15,350,000			15,350,000
実習研修事業費	0			0
研修会事業費	12,727,000			12,727,000
初期研修医等医師向け研修会	1,635,000			1,635,000
病態別実践リハ研修会	3,772,000			3,772,000
一般医家リハ研修会	1,320,000			1,320,000
急性期リハ医師研修会	6,000,000			6,000,000
海外研修助成金	4,000,000			4,000,000
優秀論文表彰金	400,000			400,000
リハ啓発活動事業費	1,500,000			1,500,000
地方会事務局運営補助金	7,960,000			7,960,000
診療ガイドライン策定費	360,000			360,000
専門医学会学術集会経費	17,171,000			17,171,000
専門医学会経費	540,000			540,000
RJN経費	892,000			892,000
50周年事業活動費	14,500,000			14,500,000
50周年事業行事費	0			0
給料手当	30,811,000			30,811,000
福利厚生費	4,554,000			4,554,000
退職給付費用	1,083,000			1,083,000
旅費交通費	312,000			312,000
ホームページ維持管理費	1,520,000			1,520,000

収支予算書(事業別区分経理の内訳表)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
通信運搬費	1,607,000			1,607,000
情報関連整備費	1,844,000			1,844,000
什器備品費	228,000			228,000
消耗品費	730,000			730,000
印刷製本費	1,186,000			1,186,000
光熱水料費	456,000			456,000
賃借料	4,334,000			4,334,000
租税公課	1,520,000			1,520,000
支払手数料	1,550,000			1,550,000
減価償却費	114,000			114,000
雑費	907,000			907,000
管理費		41,528,000		41,528,000
給料手当		9,730,000		9,730,000
福利厚生費		1,438,000		1,438,000
退職給付費用		342,000		342,000
代議員総会費		804,000		804,000
選挙関係費用		5,240,000		5,240,000
理事会費		8,413,000		8,413,000
旅費交通費		98,000		98,000
顧問料		1,555,000		1,555,000
ホームページ維持管理費		480,000		480,000
通信運搬費		507,000		507,000
情報関連整備費		582,000		582,000
什器備品費		72,000		72,000
消耗品費		230,000		230,000
印刷製本費		374,000		374,000
光熱水料費		144,000		144,000
賃借料		1,368,000		1,368,000
租税公課		480,000		480,000
負担金		6,915,000		6,915,000
事務委託費		1,944,000		1,944,000
支払手数料		490,000		490,000
減価償却費		36,000		36,000
雑費		286,000		286,000
経常費用計	273,889,000	41,528,000	0	315,417,000
当期経常増減額	△ 23,946,000	34,582,000	0	10,636,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				0
(2) 経常外費用				
経常外費用計				0
当期経常外増減額				0
他会計振替額				0
当期一般正味財産増減額				10,636,000
一般正味財産期首残高				198,205,572
一般正味財産期末残高				208,841,572
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				0
III 正味財産期末残高				208,841,572